

全鉄連流通動態調査結果表 2022年10月分

(2022. 11. 22)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		9月実績	前月比	10月実績	前月比	10月実績	前月比	10月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	6,727	97.0%	43,995	117.5%	44,049	117.0%	6,673	99.2%	
	大阪	1,788	93.0%	17,839	101.9%	17,982	101.9%	1,645	92.0%	
	愛知	4,452	97.9%	3,037	82.4%	3,684	97.5%	3,805	85.5%	
	計	12,967	96.7%	64,871	110.6%	65,715	111.2%	12,123	93.5%	
鋼	山形鋼	東京	16,796	96.8%	7,895	104.9%	8,782	108.7%	15,909	94.7%
		大阪	21,314	94.8%	7,491	106.8%	9,230	112.7%	19,575	91.8%
		愛知	6,765	88.3%	3,878	113.4%	4,526	104.7%	6,117	90.4%
		計	44,875	94.5%	19,264	107.3%	22,538	109.5%	41,601	92.7%
	溝形鋼	東京	15,054	97.4%	6,006	108.1%	6,962	117.0%	14,098	93.6%
		大阪	12,748	99.9%	4,839	92.7%	6,012	114.9%	11,575	90.8%
		愛知	4,684	98.1%	2,884	83.0%	3,837	107.7%	3,731	79.7%
		計	32,486	98.5%	13,729	96.3%	16,811	114.0%	29,404	90.5%
	H形鋼	東京	35,877	100.2%	22,039	113.6%	21,139	109.3%	36,777	102.5%
		大阪	46,206	101.3%	25,872	107.1%	25,664	108.9%	46,414	100.5%
		愛知	14,501	92.5%	9,263	82.0%	11,125	89.2%	12,639	87.2%
		計	96,584	99.5%	57,174	104.2%	57,928	104.6%	95,830	99.2%
合 計		173,945	97.9%	90,167	103.6%	97,277	107.2%	166,835	95.9%	
コ ラ ム	東京	8,680	102.0%	2,686	78.0%	2,701	82.6%	8,665	99.8%	
	大阪	14,548	99.1%	3,829	99.0%	4,082	102.0%	14,295	98.3%	
	愛知	1,531	99.3%	649	48.0%	796	58.4%	1,384	90.4%	
	計	24,759	100.1%	7,164	82.7%	7,579	87.8%	24,344	98.3%	
軽量C形鋼	東京	4,560	98.2%	1,815	89.3%	1,997	94.3%	4,378	96.0%	
	大阪	3,704	98.3%	1,769	106.6%	1,924	111.6%	3,549	95.8%	
	愛知	3,256	92.9%	989	94.6%	1,149	88.7%	3,096	95.1%	
	計	11,520	96.7%	4,573	96.5%	5,070	98.7%	11,023	95.7%	
総 計		223,191	98.0%	166,775	104.8%	175,641	107.4%	214,325	96.0%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 **東京30 大阪18 愛知12 合計60社**

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

[調査内容変更について]

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。